

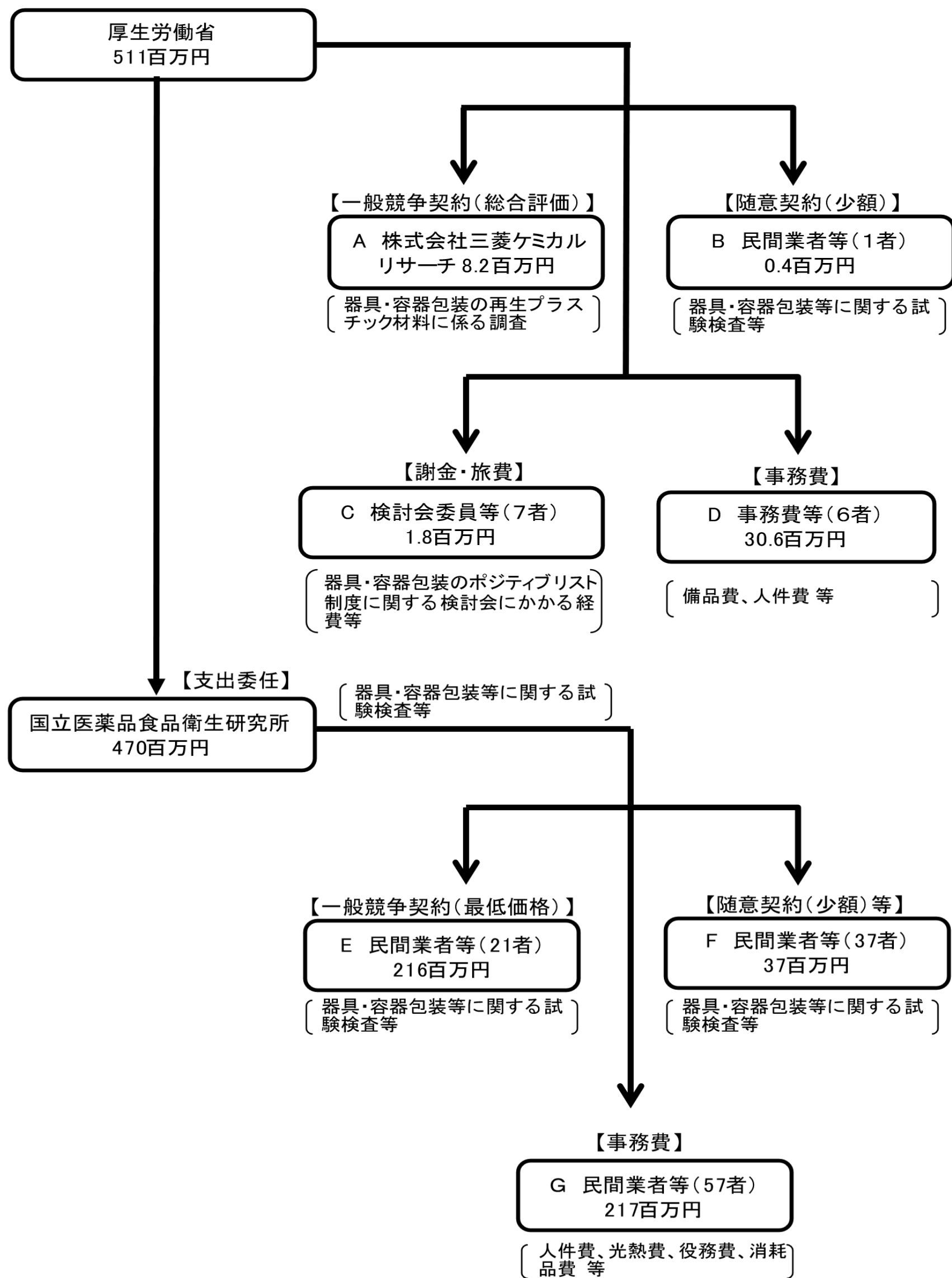
	令和5年度行政事業レビューシート					(消費者庁)	
事業名	食品用器具・容器包装の安全性確認の計画的推進事業			担当部局庁	健康・生活衛生局(厚生労働省)		作成責任者
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	食品基準審査課(厚生労働省) 消費者安全課(消費者庁)		課長 近藤 恵美子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第18条、食品安全基本法第24条			関係する計画、通知等	-		
政策	食品等の安全性を確保すること(施策大目標Ⅱ-1)			主要経費	科学技術振興費、その他の事項経費		
施策	食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること(施策目標Ⅱ-1-1)						
政策体系・評価書URL	https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hyouka/dl/r03_jizenbunseki/II-1-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	食品用器具・容器包装等については、令和2年度より施行されたポジティブリスト制度(規格が定まっていない原材料を使用した器具・容器包装の販売等の禁止等を行い、安全が担保されたもののみを使用できることとする制度)を円滑に運用すると共に、器具・容器包装の安全性を確保する。						
現状・課題 (5行程度以内)	食品衛生法等の一部を改正する法律(平成30年法律第46号、以下「法」という。)により、食品用器具・容器包装について新たな制度(ポジティブリスト制度)が導入され、食品用器具・容器包装の原材料の合成樹脂を対象に、令和2年6月1日に施行された。本制度の導入にあたっては附帯決議(平成30年4月12日)において「ポジティブリスト制度の導入にあたっては、食品健康影響評価を踏まえた規格基準を計画的に策定する等、法の円滑な施行に万全を期すこと」とされており、食品健康影響評価を依頼するために必要な知見を収集するとともに、新たな制度を円滑に運用するための取り組みが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	令和6年度、厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管することに伴い、予算計上府省庁を変更した。 ①既存物質(ポジティブリスト施行前より使用されている物質)について、最新の科学的知見を踏まえて調査を行う。 ②ポジティブリストに新規の物質を規定するに当たり、最新の科学的知見を踏まえて調査を行う。 ③器具・容器包装に関する分析法の開発等を行う。						
事業概要URL	https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05148.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	361	491	595	579	587
		補正予算(B)	-	▲ 2	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	361	489	595	579	587	
	執行額(G)		335	443	511		
	執行率(%) =(G)/(F)		93%	91%	86%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		93%	91%	86%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		食品等安全確保対策費		単価の修正に伴う増 要求額のうち「重要政策推進枠」144 令和6年4月より厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管することに伴い、(項)(目)を変更して要求。 なお、令和5年度以前の予算の執行等は、移管元である厚生労働省において実施。		
	(目)	職員旅費	1.8				
	(目)	庁費	0.2				
	(目)	委員等旅費	0.5				
	(目)	諸謝金	0.5				
	(項)		厚生労働調査研究等推進費				
	(目)	厚生労働調査研究費	576				
	(項)		消費者政策費				
	(目)	食品衛生基準調査研究費		583.8			
	(目)	職員旅費		2			
		その他		1.2			
	計(A)		579	587			

活動内容① (アクティビティ)		食品用の器具・容器包装のポジティブリスト制度を円滑に運用するため、最新の科学的知見を踏まえて既存物質に関する調査を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		食品用器具・容器包装のポジティブリス ト制度の円滑な運用	既存物質の安全性に関する 調査数	活動実績	件	879	463	733	－	－
				当初見込み	件	879	463	400	300	300
↓	成果目標①～1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	既存物質に関する知見を調査し、食品健康影響評価を依頼する。 食品健康影響評価の結果を踏まえたリスク管理を計画的に策定する等、ポジティブリスト制度の円滑な運用を行う。								
成果目標及び成果実績 ①～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		食品健康影響評価を踏まえて既存物 質に関するリスク管理を計画的に策定 する	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和5年4月13日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会器具・容器包装部会にて、既存物質に関する知見の収集にあたっては、物質ごとの知見を踏まえリスク 評価の必要性の優先度を分類し、優先度に応じた食品健康影響評価依頼を行うこととされた。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		物質ごとに食品健康影響評価依頼の優先度を検討中であり、現時点で定量的な成果目標として設定することは不可能である。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである既存物質の調査が、食品健康影響評価を通して既存物質に関するリスク管理の計画的な策定及びポジティブリスト制度の円滑な運用に直接 結びつくため。								
活動内容② (アクティビティ)		事業者が開発する新規物質のポジティブリストへの収載を行うため、必要な手続きを実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		新規物質のポジティブリストへの収載	新規物質の基準設定の公示 (通知又は告示)件数	活動実績	件	－	－	－	－	－
				当初見込み	件	－	－	－	－	－
↓	成果目標②～1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	事業者からの申請に基づいて、新規物質について食品健康影響評価を依頼する。 食品健康影響評価を踏まえたリスク管理を策定する等、ポジティブリスト制度の円滑な運用を行う。								
成果目標及び成果実績 ②～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		食品健康影響評価を踏まえて新規物 質に関する規格基準を計画的に策定 する	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和2年度、3年度、4年度は事業者からの要請はなかったため、新規物質の収載は行っていない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		ポジティブリストへの新規物質の収載は事業者からの要請により行う制度となっていることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。 令和2年度、3年度、4年度は事業者からの要請はなかった。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである新規物質のポジティブリストへの収載が、食品健康影響評価を通して新規物質に関するリスク管理の策定及びポジティブリスト制度の円滑な 運用に直接結びつくため。								

活動内容③ (アクティビティ)		国際的な動向等を踏まえ、器具・容器包装の原材料で使用されている物質に関する分析法について開発等を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		国際的な動向を踏まえた分析法の開発等	分析法の開発等の数	活動実績	件	5	2	2	－	－	
				当初見込み	件	5	2	2	2	2	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際的な動向を踏まえて分析法を開発することで、食をとりまく環境変化に迅速に対応し、我が国の食の安全、安心をより一層の向上させることができる。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		国際的な動向に応じた分析法の開発	－	成果実績	－	－	－	－	－		
				目標値	－	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和2年度は5件、令和3年度は2件、令和4年度は2件実施した。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		国際的な動向等に応じた対応が必要であることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。 令和2年度は5件、令和3年度は2件、令和4年度は2件実施した。									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		アクティビティである国際的な動向に応じた分析法の開発を予定通り実施することで、食をとりまく環境変化に迅速に対応し、我が国の食の安全、安心を守ること に直接結びつくため。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称										
	URL										
	該当箇所										
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		本事業の調査結果は、既にポジティブリストに記載されている物質の規格改正や、新たに追加する物質の規格について整理を行うために重要なデータであり、薬事・食品衛生審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容となるよう努めている。					目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)				
改善の 方向性		切に予算を執行し、事業の目標を達成できており、このまま継続して事業を実施する。 既にポジティブリストに記載されている物質の規格改正や、新たに追加する物質の規格について整理していく必要があるため、引き続き一定の安全性調査を実施し、精度の高い結果を得られるように検証する。 また、一般競争入札によるコスト削減を図り、効率的かつ適正な執行に努めていく。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り		食品用器具・容器包装等について、ポジティブリスト制度を円滑に運用すると共に、器具・容器包装の安全性を確保するために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り		－									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.				
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
	役務費	器具・容器包装の再生プラスチック材料に係る調査業務一式	8.2	役務費	細胞培養食品の国際対応に関する資料の和訳業務一式	0.4		
	計		8.2	計		0.4		
	C.			D.				
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
	-	-	-	人件費	給与・賞与	29.5		
	計		0	計		29.5		
	E.			F.				
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
	備品費	超高速液体クロマトグラフィー四重極型タンデム質量分析計 一式	66.3	備品費	堂阪イーエム DTK-1000N マイクロスライサー 1点	3.3		
	雑役務費	DNAマイクロアレイ解析装置 保守 一式 1ヶ年	5.4	雑役務費	ELGA 超純水製造装置 flex-3 消耗品交換作業 1式	2.4		
				消耗品費	安井器械 SH1002 サンプルホルダー 1点	0.9		
	計		71.7	計		6.6		
	G.			H.				
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
	電気料	電気使用料	45.6					
	計		45.6	計		0		
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック		

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三菱ケミカルリサーチ	5010001022137	器具・容器包装の再生プラスチック材料に係る調査業務一式	8.2	一般競争契約 (総合評価)	1	79%	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ホンヤク社	3010401084786	細胞培養食品の国際対応に関する資料の和訳業務一式	0.4	随意契約(少額)	-	100%	-
C								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費1件	0.8	その他	-	-	-
2	個人B	-	旅費1件	0.8	その他	-	-	-
3	個人C	-	旅費1件	0.1	その他	-	-	-
4	個人D	-	旅費1件	0.1	その他	-	-	-
5	個人E	-	謝金1件	0	その他	-	-	-
6	個人F	-	謝金1件	0	その他	-	-	-
7	個人G	-	謝金1件	0	その他	-	-	-
D								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	資金前渡官吏	-	給与・賞与	29.5	その他	-	-	-
2	有限会社タケマエ	3010002049767	モニター 1台 外9件 ほか1件	0.7	随意契約(少額)	-	100%	-
3	株式会社エコ・エイト	1010901014039	産業廃棄物処理業務	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
4	株式会社ジェイ・アンド・ワイ	1010001141543	ルーター1台の賃貸借	0	随意契約(少額)	-	100%	-
5	興栄商事株式会社	9020001034739	産業廃棄物処理業務	0	随意契約(少額)	-	100%	-
6	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	1011101015050	カラー複合機	0	その他	-	100%	-

